

学部入学から大学院まで

「創発」を生む能力を育むためのきめ細かい教育が慶應義塾大学理工学部の特徴です。自律的に選択をしながら関心領域を絞り込める教育システムをチャートにしました。

入学試験制度

一般選抜、AO入試、指定校による推薦入試、帰国生入試、外国人留学生入試
 ※AO入試は出願時に学科を選択するため、学門制ではありません。

入試出願時
「学門制」
入学

学科
選択

日吉
キャンパスから
矢上
キャンパスへ

学科
専門科目
& 研究室

就職または
修士課程に
進学

就職または
博士課程に
進学

学部 1 年

第1学年時に自分の関心領域を徐々に絞り込み、第2学年に進級する前に希望する学科を申告します。

学部 2 年

第2学年から学科に所属し、研究の土台となる専門基礎科目を中心に学びます。

学部 3 年

学生生活の拠点が理工学部だけの矢上キャンパスへと移ります。学科専門科目の履修が始まり、本格的な専門知識を習得します。

学部 4 年

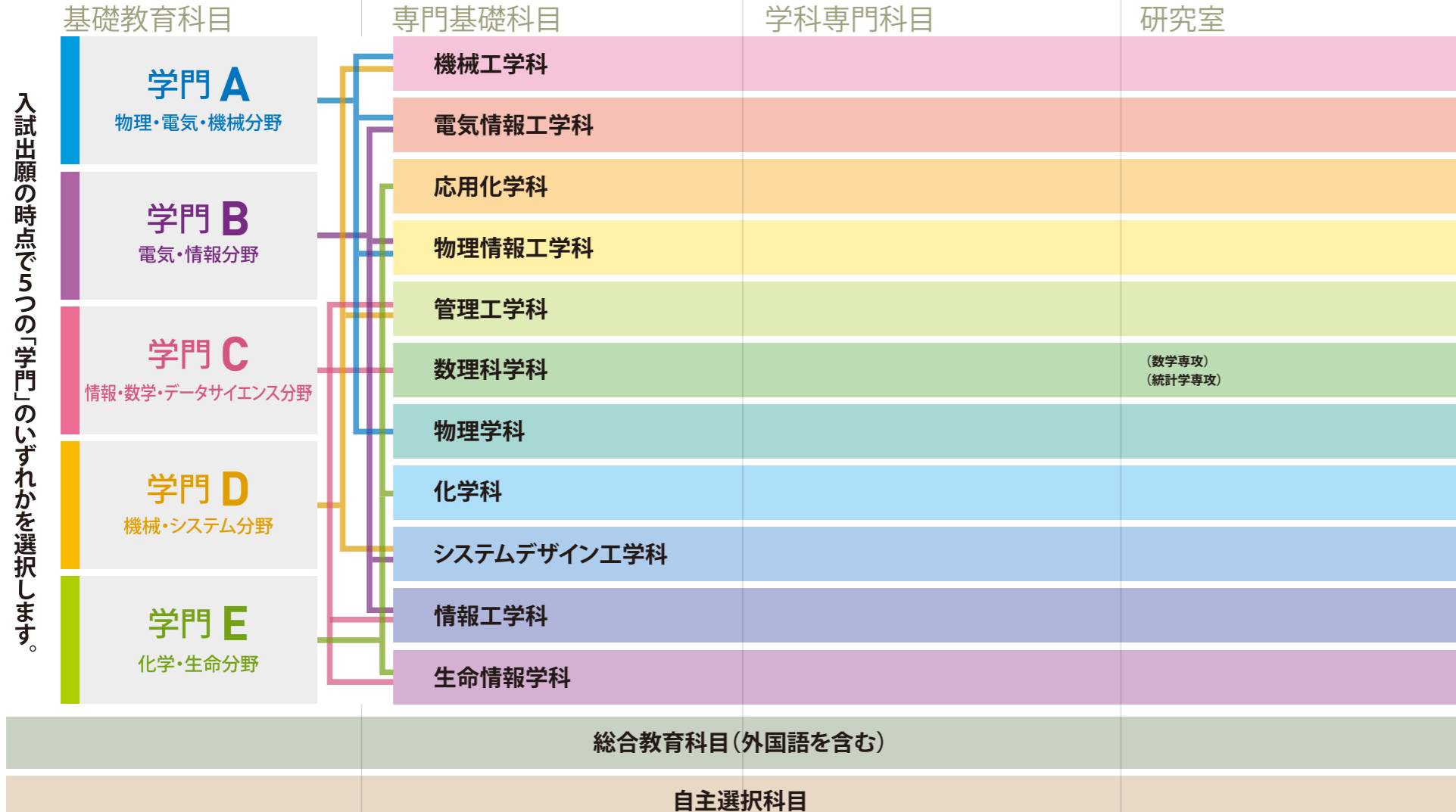
第4学年から研究室に所属します。教員の指導のもと、研究活動に参加し、研究室を拠点として「卒業研究」に取り組みます。

修士 1 年

理工学部を卒業した学生の7割余りが大学院(修士課程)へ進学し、そのほとんどが慶應義塾大学大学院理工学研究科に進学しています。

修士 2 年

修士課程は通常の場合2年間で修了します。大学院修了者のうち25%程度の学生が大学の推薦制度を利用して就職し、就職希望者の就職率は毎年100%近くに達します。



ブレックスルーを
起こす研究力

広い視野と
柔軟な思考

世界をリード
する力

さらに高い能力を
身につける

創発する力を身につける

理工学研究科と協定校の
両方から学位(修士)を取得

3月
修了

大学院生対象
ダブルディグリー
プログラム

最初の春学期を慶應で、続く1年半を協定校で、さらに帰国後に1年間慶應で学び、2つの学位(いずれも修士)を取得できるプログラム。

協定校

9月
慶應(修士1年)

学部生対象
ダブルディグリー
プログラム

飛び級入学

第3学年修了後に修士課程に進むことができる制度。

9月
協定校1年

9月
協定校2年

学部1・2年を慶應、3・4年を協定校、そして再び慶應で修士課程を修めることで理工学研究科と協定校の両方から学位(いずれも修士)を取得できるプログラム。

夏休みや春休みを利用した短期海外研修

必修外国語科目(第1学年:英語・諸外国語 第2学年:英語)

グローバルリーダーシップセミナー(GLS)

4学期制を利用した 海外サマースクール・派遣交換留学(1年)